

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	世界史
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『明解世界史A』（帝国書院）、『明解世界史図説エスカリエ』（帝国書院）					
担当教員	赤崎 雄一					
到達目標						
世界各地域の歴史・文化を理解でき、国際化社会に対応した教養を身につける						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
世界各地域の歴史を理解する	世界各地域の歴史を理解できる		世界各地域の歴史を基本的に理解できる		世界各地域の歴史を理解できない	
世界各地域の文化を理解する	世界各地域の文化を理解できる		世界各地域の文化を基本的に理解できる		世界各地域の文化を理解できない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	世界各地域の歴史・文化を理解できることに重点を置いて学習する					
授業の進め方・方法	プリント、視聴覚教材を利用した講義を行い、最後に授業のまとめの問題を解かせる。					
注意点	日頃から新聞、ニュースを見るようにすること					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	人類の始まりとオリエントの古代文明		授業内容を理解できる	
		2週	中国に生まれる統一国家		授業内容を理解できる	
		3週	東アジアの国際的な大王朝		授業内容を理解できる	
		4週	諸民族によって統治された時代		授業内容を理解できる	
		5週	数々の宗教が成立した南アジア		授業内容を理解できる	
		6週	外来文化を吸収した東南アジア		授業内容を理解できる	
		7週	イスラームの誕生と広がり		授業内容を理解できる	
		8週	ヨーロッパ文明の源流		授業内容を理解できる	
	2ndQ	9週	東西に分かれるヨーロッパ		授業内容を理解できる	
		10週	十字軍遠征		授業内容を理解できる	
		11週	イスラーム諸王朝の繁栄		授業内容を理解できる	
		12週	明・清の繁栄		授業内容を理解できる	
		13週	ヨーロッパで花開く個性と自由		授業内容を理解できる	
		14週	大航海時代の始まり		授業内容を理解できる	
		15週	試験返却・解説		授業内容を理解できる	
		16週				
後期	3rdQ	1週	ヨーロッパの新しい国際関係		授業内容を理解できる	
		2週	ヨーロッパ諸国の国づくり		授業内容を理解できる	
		3週	イギリスから独立するアメリカ		授業内容を理解できる	
		4週	フランス革命		授業内容を理解できる	
		5週	ナポレオンのヨーロッパ支配からウィーン体制へ		授業内容を理解できる	
		6週	産業革命という大変革の開始		授業内容を理解できる	
		7週	資本主義の発展と社会主義運動の発生		授業内容を理解できる	
		8週	イタリアとドイツの統一とロシアの改革		授業内容を理解できる	
	4thQ	9週	南北戦争とアメリカの発展		授業内容を理解できる	
		10週	オスマン帝国の弱体化とムガル帝国の崩壊		授業内容を理解できる	
		11週	東南アジアの植民地化		授業内容を理解できる	
		12週	中国の開国		授業内容を理解できる	
		13週	アジアにおける工業化と日清戦争		授業内容を理解できる	
		14週	東アジアをめぐる国際関係と辛亥革命		授業内容を理解できる	
		15週	試験返却・解説		授業内容を理解できる	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	後6,後7,後11,後13

				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前14,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	後6,後7

評価割合

	試験	発表	合計
総合評価割合	90	10	100
配点	90	10	100